

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小2-3

国語

書く・作る「詩を作る」

オクリンクプラス
コネクタ機能
授業
内容

一つの言葉を決め、その言葉から思い浮かんだ自分の経験をもとに詩を作る

準備：

- ・共有コードを使用してカード（①、②）、提示資料のカードを取得する。
- ・全体共有用のみんなのボードを1つ用意する。
- ・準備したカード（①、②）を子供たちのマイボードに送信する。

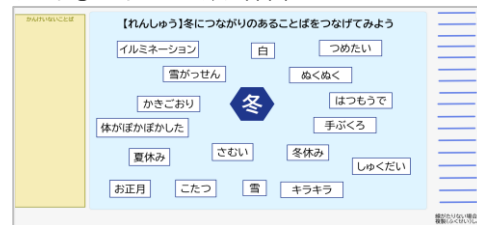
授業の流れ：

1. 各自、カード①「イメージマップ練習」を開いて、記載されている【冬】につながりのある言葉を、動かし線でつなげたりしてイメージマップを作る練習をする。関係のない言葉は、カード欄外「かんけいないことば」に移動する。完成したカードをみんなのボードに送る。
2. 全体で、どのように言葉と言葉をつなげたか指名された子供が発表する。人によって言葉のつながり方が異なることを確認する。提示資料に示された例から、イメージマップを作る時には中心のテーマから外れないようにすることを確認する。
3. 各自で、詩のもとになる言葉を決め、カード②「イメージマップカード」を使ってイメージを広げる。
4. 子供同士で「イメージマップ」を見せ合い、つなげた言葉を説明する。相手によいと思ったところを伝えたり、分からないところを質問したりする。友達に言われたことを元に、イメージマップに新しい言葉を追加したり、直したりする。
5. 各自、イメージマップをもとにして詩を作り、ノートなどに書く。

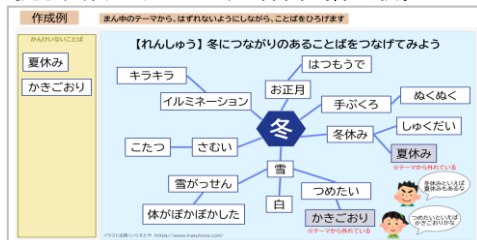
サポータ
おすすめ
ポイント

- ・言葉を自由に動かして、関連する言葉を集めたり、並び替えたりすることができます。
- ・イメージマップの使い方を習得すると共に、詩のイメージを広げる活動に活かすことができます。
- ・イメージマップを使って自分の発想を可視化することで、他者の感想や評価をもとに、詩のアイデアをより良く練ることができます。
- ・オクリンクプラスのコネクタ機能を使うことでカード上にあるアイテムを「線・矢印」で簡単につなげることができ、アイテム同士のつながりや関係性を自由に表現できます。

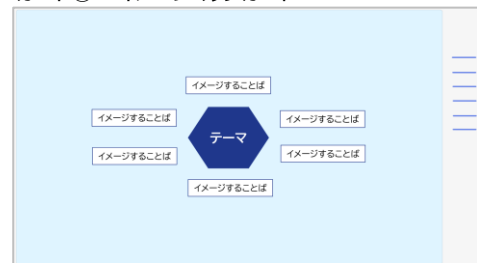
カード①：イメージマップ練習



提示資料：イメージマップ練習（作成例）



カード②：イメージマップカード



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む

pb01KBE7VFFH8YZA73XN4EDXHY8J